

令和元年度 第6回伊那地域協議会会議録

開催日	令和2年 2月 7日(金)											
開催時間	開 会	午後6時30分			閉 会	午後7時30分						
開催場所	伊那市役所 1階 多目的ホール											
委員の出欠 出席27名 欠席12名		委員氏名				委員氏名				委員氏名		
	1	御子柴 春樹	出	16	八幡 孫之	出	31	久保田 直樹	欠			
	2	原 猛文	出	17	飯沼 厚史	欠	32	櫻井 智	出			
	3	竹前 進	欠	18	平嶋 真	欠	33	ワズナー 奈那	出			
	4	中山 昭	出	19	大沼 明夫	欠	34	平澤 彩	欠			
	5	原 壯内	出	20	伊藤 哲寛	欠	35	河上 由香	欠			
	6	福沢 雄司	出	21	網野 隆志	出	36	小林 建正	出			
	7	武田 修平	欠	22	板倉 倫顯	出	37	平賀 裕子	出			
	8	船阪 政義	出	23	佐々木 知恵子	欠	38	小林 正	出			
	9	池上 喜恵	出	24	田畑 恵子	欠	39	井口 清吾	欠			
	10	中村 永夫	出	25	中山 彩香	欠						
	11	北澤 健	出	26	宮原 勝	出						
	12	坪木 澄人	出	27	山岸 和豊	欠						
	13	林 典男	出	28	中村 一重	欠						
	14	小澤 辰夫	出	29	平澤 大典	欠						
15	三澤 惇夫	欠	30	清水 功	欠							
署名委員	小林 正			御子柴 春樹								
条例第10条の規定により出席した者	なし											
市側の出席者												
出席した事務局職員	地域創造課 課長			唐澤 直樹								
	地域創造課 地域振興係長			飯島 勝								
	地域振興係			早川 佳代								
議 事	(1) 伊那市協働のまちづくり交付金事業の募集について (2) 伊那地域協議会からの提言について											

1 開会

(副会長)

ただいまより、令和元年度第6回伊那地域協議会を開会します。

(欠席委員の報告)

2 あいさつ (会長より)

大変お忙しい中、またお寒い中、第6回の伊那地域協議会に参集いただきありがとうございます。2年間に渡り、委員の皆さんとともに4つのテーマを掲げて、協議や検討を重ねてきました。おかげさまをもちまして、昨年12月に提言書をまとめて市へ提出することができました。また、協働のまちづくり交付金事業も順調に活用することができました。今日はこの地域協議会のメンバーでは最後の会議となり、提言書に対する伊那市の考え方について説明があります。また、次期の地域協議会のためにも、引継ぎ的な事項があったら、この地域協議会がより一層発展できるように、忌憚のない意見を出していただきたい。

2 会議録署名人の指定について

(会長)

会議録署名人に38番 小林 正委員、1番 御子柴春樹委員を指名する。

3 報告事項

(1) 令和2年度伊那市協働のまちづくり交付金事業の募集について

(事務局)

令和2年度伊那市協働のまちづくり交付金事業の募集について報告。

(会長)

事務局より2月3日から3月4日までの期間で募集、3月末に選考委員会を開催するという説明がありました。この事について、何か質問があればお願いします。

〈質疑・応答〉

なし

4 会議事項

(1) 伊那地域協議会からの提言について

(事務局)

伊那地域協議会からの提言に対し、担当課からの回答・取り組み状況の説明。

〈質疑・応答〉

(委員)

- ・ 中心市街地活性化協議会の設置を検討と、都市計画マスタープラン・中心市街地活性化基本計画の検討について、時間軸的にどのような形で検討していこうと考えて

いるのか。この提言をした背景には、中心市街地活性化基本計画と都市計画マスタープランを作る時に、活性化協議会の意見を反映しないと良いものが出来ないのではないかという考えがある。

- ・中心市街地活性化法の制度を活用したらどうかという提言であるが、それに対しての回答が明確でないので、どのように考えているか回答がほしい。
- ・私有財産については事前の合意形成など慎重な協議、検討が必要であるとあるが、市としては、どのような考えで、どのようなスタンスで臨むのか回答がほしい。

(事務局)

担当課に確認をして、後日、文書で回答をする。

(委員)

今回の提言内容について、行政として具体的に予算付けが行われた事業があれば提示して欲しい。

(事務局)

来年度（令和2年度）予算については、提言の時期が当初予算の編成時期よりも後だったため、予算に反映した事業はない。担当課が検討を進める中で、年度途中に予算付けが必要になるようならば補正予算で対応するが、今のところ予定はない。

(委員)

今回の提言について、今後、検証する機会があるのか。

(事務局)

半年後、もしくは1年後以内には、これらの提言内容についての進捗状況を担当課に確認をし、次期（第8期）の地域協議会で報告をする。

(2) 次期伊那地域協議会への引継ぎ事項について

(会長)

今回の協議会が第7期最後ということになり、4月からは新たな体制で伊那地域協議会が発足する。次期伊那地域協議会に対して、意見や引継ぎ事項があったら出してほしい。

(委員)

意見等なし。

(事務局)

伊那地域協議会の委員として2年間活動した経験から、次の地域協議会の委員に対しての提言など、配布したアンケート用紙またはメール等でご意見をお寄せいただきたい。

(3) その他

(会長)

協議事項全体を通して意見等があればお願いしたい。

(委員)

これまで地域協議会の委員を何期かやってきた。大変スムーズな会議の進行をしてくださった会長、副会長に感謝したい。

5 その他
(事務局)

協働のまちづくり交付金事業の活動実績について、毎年、市内の4つの団体に発表をしてもらっており、令和元年度の事業報告会を3月24日(火)18時30分から開催する。後任となる委員さんにも、この交付金事業について承知してもらう良い機会なので、ぜひお誘い頂きたい。

6. 閉会
(副会長)

以上をもちまして、令和元年度第6回の伊那地域協議会を閉会とします。

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名人において下記のとおり署名する。

令和2年2月7日 令和元年度 第6回伊那地域協議会 会議録

会 長 _____

会議録署名人 _____

会議録署名人 _____